



学校だより

「チーム三和中」

令和8年 7月16日
令和8年度 第4号
文責
長崎市立三和中学校
校長 北野 憲

＜校 訓＞ 自立 親和 協力

＜ 学 校 教 育 目 標 ＞

持続可能な社会を担う 柔軟で心強き 生徒の育成

【合言葉】

「自分を大切にする、周りを大切にする三中」
～ 思いやりと感謝の心を大切に ～

【令和8年生徒会活動スローガン】Step&Rise ～一歩ずつ 高みを目指して～

【 被爆体験家族証言講話 】

6月23日(火)に、各教室へのリモート配信で、被爆体験家族証言講話を実施しました。永井隆記念館の館長様を講師としてお招きし、講話をしていただきました。講師の先生から、祖父にあたる隆博士の被爆体験や被爆後の生き方、そして平和に対する思いなど貴重なお話をいただきました。講話を通して、今ある平和が決して当たり前ではないことを改めて学び、私たちに何ができるかを考え、平和を希求する気持ちを高めました。



【 絵本の読み聞かせ 】

7月3日(金)に各教室にて、平和学習の一環として絵本の読み聞かせを行いました。各学級の平和学習推進委員が平和に関する絵本を読み聞かせることで、平和への思いを深めました。



【 生徒総会 】

7月3日(金)に各教室へのリモート配信で、生徒総会を実施しました。生徒総会の本番に向けて、生徒会役員が中心となり、5月中旬から時間をかけて準備を進めてきました。議事では、前年度生徒会活動報告、今年度生徒会活動計画案・専門部年間活動計画案、生徒会規約・会則についての質疑応答、第1号議案(執行部・専門部からの議題提案)、第2号議案(学級からの議題提案)について話し合いました。議長が議事を円滑に進め、各学級からの質問や意見など活発な質疑応答が行われ、全校生徒が「自分たちの学校をよりよくしよう」という当事者意識をもって真剣に臨むことができました。今後、承認された計画をもとに、生徒一人一人が主体となって活気ある学校を創り上げていくことを期待しています。



【 土曜授業 】

7月4日(土)に、本校の「長崎っ子の心を見つめる教育週間」の一環として、土曜授業を実施しました。1校時は生命尊重を内容項目として、各学級で道徳科の授業を行いました。2・3校時は長崎県警県南少年サポートセンターの方を講師としてお招きし、各教室へのリモート配信で「インターネットに潜む危険性」について講話をしていただきました。SNSによる被害、被害に遭わないための三原則、いたずら投稿による代償、闇バイト募集に注意、悩みの相談窓口の紹介等、具体的な事例を聞きながら学びを深めました。生徒下校後は、学年PTAを各特別教室で行いました。保護者の方におかれましては、雨の中、土曜授業にご参加いただき、ありがとうございました。今回の取組をより深めるために、ご家庭でも、「命を大切にする心や思いやりの心」について話をしていただければと思います。



【 第1学年平和フィールドワーク 】

7月7日(火)に、1年生を対象として、平和フィールドワークを実施しました。原爆落下中心地公園を出発地点とし、3つのコースに分かれて平和案内人の方のガイドによる遺構巡りを行いました。午後からは、追悼平和祈念館で折り鶴を奉納し、その後、原爆資料館を見学して学びを深めました。活動を通して、被爆地ナガサキに生きる中学生として、実際の遺構や資料を見たり、案内人の方の話を聞いたりすることによって、あらためて長崎に落とされた原子爆弾の被害や当時の人々の悲しみ・苦しみについて知り、未来の平和について一人一人が自分のこととして考える機会となりました。



【 明日は第1学期終業式 】

夏休みが、いよいよスタートします。夏休みにしかできないことに、ぜひチャレンジするとともに、家族の時間も大切にゆっくりと話しながら、1学期の学校生活を振り返ってみてください。夏休み明け、心も体も大きく成長した元気な生徒たちに会えることを楽しみにしています。